

人権に関する作文と ポスター発表 (北部中学校)

コミわかでは人権教育・啓発活動として毎年住民集会を開催し、小中学校の生徒さんに人権作文を発表していただいています。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため住民集会は中止とし、生徒さんの作文・ポスターは広報紙による発表とさせていただきます。

北部中学校3年 人権委員会 委員長 永井 雄也

私は北部中学校の人権委員会委員長として、今年はコロナ禍で活動が難しい中ではありますが、いくつかの活動をしてきました。

1つ目は、標語作りです。1年生から3年生までの委員約20名で身近な問題を解決するための標語を作りました。委員の作った「優しさでこのご時世を乗り越えよう」という標語は、今の世界の現状を伝えようとしているように感じました。

2つ目は、ポスター作りです。制作期間が短かったですが、人権委員だけではなく、クラスメイトも手伝ってくれて良い作品がいくつも完成し、文化祭で展示することができました。このポスターからも、いじめや差別をして人(相手)を傷つけるのではなく、相手を尊重しながら自分達も生活していかなければいけないことを学びました。

この2つの委員会活動を通して、当たり前のことではありますが、人が人を差別してはいけないことや優しい気持ちで人と接することが大切だということを再確認することができました。

私の任期は令和2年の12月で終わりになりますが、後輩達にも人権標語や人権ポスター作りの活動を通して、人権に関する問題に関心を高めてほしいと思いました。そして、今年度は新型コロナウイルスの流行により例年できていた活動ができませんでした。しかし、来年度は例年通りの活動をして、今年度よりも人権問題についての関心を高めてほしいと感じました。

